



そこで、イエスは、その人だけを群衆の中から連れ出し、その両耳に指を差し入れ、それからつばきを垂して、その人の舌にさわられた。そして、天を見上げ、深く嘆息して、その人に「エパタ。」すなわち、「開け。」と言われた。すると彼の耳が開き、舌のもつれもすぐに解け、はっきりと話せるようになった。(マルコ 7:33-35)

発行/日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団
ろう者伝道部
〒170-0003 東京都豊島区駒込 3-15-20
TEL 03-3918-5935
発行者 井桁正巳
編集者 五島靖子

聖霊の力

台北神愛教会 牧師

イエン
顔 金龍
チンロン



サムソンがレヒに来たとき、ペリシテ人は大声をあげて彼に近づいた。すると、主の霊が激しく彼の上下に下り、彼の腕にかかっていた綱は火のついた亜麻糸のように燃えて、そのなわめが手から解け落ちた。サムソンは、生新しいろばのあご骨を見つけ、手を差し伸べて、それを取り、それで千人を打ち殺した。そして、サムソンは言った。「ろばのあご骨で、山と積み上げた。ろばのあご骨で、千人を打ち殺した。」(士師記十五章十四節、十六節)

サムソンは、ペリシテ人が近づいて来た時、ろばのあご骨で、千人を打ち負かしました。台湾では、ロバには、弱い存在という意味が含まれていますが、サムソンはその弱いろばのあご骨で、勝利したのです。この箇所には「ろばのあご骨」という言葉が三回も使われています。それは、敵に勝利したのはサムソンの力によるのではなく、神様が、弱いロバの骨を用いてなされた御業だ、という強調です。サムソン自身も、人間的に弱い者でしたが、神様はそのような弱い者を用いて、大きな御業を現して下さいお方なのです。神様は弱い人を用いたいと願っておられます。私達も弱さを持つ者ですが、神様は私達を用いたいのです。ですから、弱さを恥じないようにしましょう。弱い時こそ強いのです。

私は、神学校卒業後、台湾で原住民に対して十二年間宣教してきました。多くの原住民の女性が

スナックで働いている事が分かったので、全てのスナックに入って伝道しました。宣教を始めた当初は四百軒のスナックがありました。しかし今は七十に減っています。それは、そこで働いていた人達がみんな教会に来るようになったからです。スナックで異言で祈り、病の癒やしが起こりました。聖霊が働かれました。その中にお酒を飲み過ぎて、肝硬変になった女性もいました。医者は三日は生きられないと言いました。十三年前の事です。手を置いて祈った時、彼女は癒され、現在、祈りのリーダーをしています。神様の力が働くと、弱さが強さに変わるのです。

また、私達は過去の傷や否定的な思いに縛られてしまう事があります。しかし、聖霊様が激しく臨まれる時、力を受けて自由になることができます。私達が解放されたいと心から望むなら、聖霊様は救い出して下さいます。

ある集会で、水頭症の子供と母親が来ていました。主が私に「この子の上に力を与える。この子は必ず治る」と言われました。私は手を置いて祈り、必ず癒されます。」と宣言しました。今、水頭症は完全に癒され、家族全員が教会に来るようになりました。

神様の前に自分は弱い者です、と告白しましょう。そして、聖霊様が働いて下さるように祈りましょう。聖霊様は弱い者に働いて下さいます。

全国ろう者聖会 報告

徳島神召キリスト教会牧師

井桁正巳

八月十三日(日・夜)〜十五日(火)まで、岡山県岡山市のアークホテルで全国ろう者聖会が開催されました。二十六教会より百五十九人の参加がありました。講師は、台湾 AOG 理事長の顔金龍先生(通訳、丸山陽子宣教師)を、お招きしました。顔先生のメッセージと、力強い祈りを通して、多くの兄弟に癒しと解放の御業が起こり、聖会



場に濃厚なる聖霊様の深いご臨在が顕されました。

また、聖会二日目の午後から、ろう者聖書学校の卒業式と入学式が執り行われました。明石キリスト教会の船越武司兄が卒業され、小岩ろう栄光キリスト教会の中村崇兄、熊谷福音キリスト教会の新井哲也兄、阿南神召キリスト教会の古川公子姉、名古屋神召キリスト教会の加藤雅美姉、岡山神召キリスト教会の水島宣子姉の5名が入学されました。現在ろう者聖書学校では、在校生を含めて6名の神学生が学んでいます。ろう者神学生の

学びの祝福のためにお祈りください。

最終日は、顔先生から「霊的にも、肉体的にも元気になって宣教していこう！」と宣教に対する力強い励ましを与えられました。そして、多くの兄弟に癒しの御業が起こり、参加者一同、新たな伝道の思いに燃やされてそれぞれの地へ遣わされていきました。

ろう者聖書神学校 報告

ろう者聖会二日目、ろう者聖書神学校の卒業式、入学式が行われました。一名の卒業、五名の入学がありました。おめでとうございます。

卒業 船越 武司

三年間、ろう者聖書学校が無事に終わりました。でもまだまだ足りないと思います。もっと勉強したい気持ちがあります。これからも、頑張っていきたいです。

入学 中村 崇

毎年八月、全国ろう者聖会が行われ、その中に必ず講師の

「献身の決心をする人がいますか？」との呼び掛けがあります。私はいつも分かっていながら逃げていました。

ヨナ記で 預言者ヨナは、神様からニネベへ宣教命令を受けたにも関わらず、それを拒否して逃げようとした。私も神様からの献身の呼び掛けに心ならず、逃げていました。しかし、こんな私にもついに時がきました。昨年の吉山師の入院を機に、ろう教会の跡継ぎの為、献身する決心をしました。この夏、皆様のお蔭でろう者聖書学校入学式を無事に迎える事が出来ました。

これからの三年間の学びは、厳しいと覚悟して、共に入学した五人と力を合わせて頑張っていきますので、お祈りと応援を宜しくお願いします。

入学 新井 哲也

ハレルヤ！主の御名を賛美します。

岡山で開催された全国ろう者聖会で私を含め、五名のろう者兄弟姉妹たちと共に入学式に出席



した恵みを感謝します。私は、二年前にJ.T.J宣教神学校神学部聖書専修科を卒業しました。今回で二度目、神学校に入学しましたが、新たな献身を胸に今後、三年間は、学びと訓練を一層励みながら、兄弟姉妹たちと苦楽を共に過ごして参りたいと思います。

現在、日本は約四十万人のろう者がいると言われています。社会では少子化が進み、高齢者が増加しています。その中で毎年、ろう者の若者たちも減少しつつあります。特に、教会に来る若いろう者たちの姿があまり

見られなくなっています。教会の次世代につなぐためにも、ろう者の魂の救い、日本のリバイバルのために皆様が心を一つにして祈る時ではないでしょうか。そして、私たち五名の入学生のために引き続き、お祈りのサポートを宜しくお願い致します。私からも、皆様に神様の豊かな恵みと祝福がありますようにお祈りします。

入学 水島 宣子

この度、私がろう者聖書学校に入学できた事は、本当に神様の深い憐れみと恵みによるのだと、深く感謝しています。

実は入学式の直前まで、私は、自分のような弱くて頼りない者がろう者伝道師を目指して大丈夫なのか、信仰的にも人間的にも未熟な私が、これから神学生としてやって行けるのか、すごく不安でした。でも、聖会で顔先生のメッセージを通して、聖霊様の力を受ければきっと大丈夫、神様はこんな私でも用いて下さる、と確信し、すごく励まされました。



また、北野校長先生や細井先生のお話から、これからの学びを着実に続けて行く為には、毎日聖書を読み、祈る事が一番大切だと教えられました。これからは常に神様を意識した生活しよう」と決心しました。

これから三年間、一生懸命勉強や奉仕に励み、充実した学生生活を送りたいです。

入学 古川 公子

主の御名を、賛美します。私が献身を決意した時、林田先生に伝えると大変喜んで下さって応援してください、入学直前、教会の皆さんのお祈りに支えら

れて無事に入学式を迎えることが出来ました。感謝しています。入学式当日、外はむし暑く、真夏の入学式は珍しい。でも涼しいホテル内に集まった新入生達と私は、ワクワクそわそわしていました。式が始まった時、北野校長先生の誓約の言葉に、とても気の引き締まる思いがしました。そして細井先生の励ましメッセージを聞いて、尊い魂の重みを大事にして、もともと自分を磨いて行かなければと思っていました。

これから本格的な集中講義が始まります。「人の子は滅んでいける者を救うために来たのです」(マタイ十八章十一節〜十四節) このみ言葉を思い出しながら、十字架のイエス様を見上げ、勉学に励み、祈りつつ前進して行きたいと願っています。又、神学生六名(在校生を含めて)の兄弟達とお互いに励まし合って祈り合って、三年間の学びを共に過ごしていきたいと思っています。全国のろう者の皆さん、私たちのために覚えてお祈り下さい。

入学 加藤 雅美

主の御名を賛美いたします。二年前、初めて、ろう者聖書学校の聴講生として参加してみました。その時、知れば知るほどこんなに楽しいと思うようになりました。講師が直接手話で教えてくれると、より理解が出来ます。

昨年、県外の盲ろう者と出会いました。その人は、「私は、盲ろう者という障害を持っていてるけど、教会に行くことが唯一の楽しみだ。」と、笑顔で話してくれました。最初、お互いに信者であると知りませんでした。神様のお導きで、触手話で交わりすることが出来ました。聖書は点字なので、教会に持って行けない不便を聞いて「私は恵まれている。」と思いました。その時、手話で伝道する使命が与えられていることを教えられました。また、ある人が「前に教会に行ったことがあるけど、話が分からず行かなくなりました。」と言いだしたのを聞いた時は驚きました。私が信者であること

を知らないはずなのに、どうしてあんなことを言ってくれたのかなと、不思議に思いました。私は、多くのろう者達にイエス様を紹介したいと思い、ろう者聖書学校に入学する決心をしました。入学式が終わると周りから喜んでくれると共に励ましの御言葉を頂きました。私たちのために祈って頂ければ幸いです。

世界ろう大会 報告

オーストラリアにて、第五回世界アッセンブリろう者大会が九月二十六日(火)から十月四日(水)まで開かれました。参加国十五、参加者二百五十六名(内日本人参加者二十八名)でした。主にあつて一つとされた各国の兄弟姉妹と、恵み多き時を持つ事ができて感謝でした。

御影神愛キリスト教会

大森 弘子

世界アッセンブリろう者大会に初めて参加しました、本当に素晴らしくて感動がいっぱいで、手話賛美を心を込めて歌う

姿が心を打ちました。

さらに力強い説教でこの世の終わりが近い事を信じて、信仰を固く保ち、祈りも熱心に求め、聖霊と共に生きよう、という事を求められました。使徒一章八節のみ言葉のようになりたいと思いました。

大会後、動物園を訪れました。緑に包まれたステキな動物園でした。憧れていたコアラも抱けて最高に嬉しかったです。カンガルーのおなかの袋からひよっこ顔を出してくる幼子も愛くるしかったです。神様の恵みを感謝します。

御影神愛キリスト教会

松本 美智

ハレルヤ。主の御名を賛美致します。

第五回世界アッセンブリろう者大会に参加しました。世界中のろう者の牧師、宣教師、兄弟姉妹と会い、最初はうまく話せなくても、次第に通じるようになり、楽しく交流できました。大会中は各国の牧師一人一人が力強く語られ、その国の特色を



出しながらのメッセージでした。大会二日目に女性牧師より手書きのメッセージメモをいただきました。「主に感謝せよ。主は恵み深く・・・」(詩篇百七編一節)と「求めよ。そうすれば与えられる・・・」(マタイ七章七節)でした。

最終日の夜、米国の牧師に「悔いあらためて祈りたい人がいれば前に来て下さい」と言われ、前に行きました。祈っていると御心にふれた感じがして、胸が熱くなり泣き続けました。必要な事を神様にはつきりと教えて頂いた事を感謝します。

大会後の観光は、雨と風が強まるとの予報でしたが、雨も降らず念願の可愛いコアラを抱くことができました。オーストラリアの九日間は神様の豊かな恵みを実感する日々でした。感謝します。

聖会中3名の洗礼式がありました



小岩ろう栄光キリスト教会

安間 喜美雄

主の御名をほめたたえ賛美します。

第五回アツセンブリーろう者大会がオーストラリアで開かれました。赤道の南下のオーストラリアの土を初めて踏みました。日本の広さの二十倍、オーストラリアのろう者の人口は六万人

いるそうです。大会の参加国は十五カ国、言語は違いますが、各国のろう者の手話は大体、通じます。

各国のろう者のため、福音を広めるように、聖霊の働きについて沢山学びました。特にイスラム教の国、ろう者にキリストを語ってはいけない、厳しい取り締まりの状態にあるろう者の魂の救いのため、聖霊の働きが起るように心ひとつ合わせてお祈りしていこうと思えました。世界からろう者が集まり、交わりと祈りが出来て感謝いっぱいでした。三年後のスペインでの大会に皆さんも参加しましょう。

三滝グリーンチャペル

新納 義弘

ハレルヤ。主の御名をほめたたえます。

長い十日間のオーストラリア大会が、パームビーチの近くのレクリエーションセンターで盛大に開かれました。

前回のアメリカ大会と、少し似ていて、設備も食事も聖会の

プログラムもきちんと上手く進行できて良かったでした。

スペイン、アメリカ、エストニア、カナダ、韓国、日本などの講師の力強いメッセージを聞いて感動的でした。聖霊を受けるとパワーが与えられるのだと教えられました。自分も反省しなければならぬことを、たくさん学ばせてもらいました。

主に感謝でいっぱいでした。もうなんだか、ハッピーに満たされて喜び溢れてきました。参加した日本デフクリスチャン二十八名の上に恵みと祝福が豊かにありますように。そして、今も生きておられる主に感謝します。ハレルヤ！ アーメン！

阿南神召キリスト教会

古川 公子

世界ろう者大会は、六日間朝から夜まで続き、毎朝近くの浜辺で早天祈祷会があり、何人が集まっていました。朝は海が青くて空気も新鮮で、清々しかったです。風も吹いていたので、長くいると寒くなってきましたが、み

んな熱心にお祈りをしていました。砂の上に跪いて祈る人、腰を下ろして祈る人、手話で祈る人、手を上げて祈る人、聖書を読んでいる人、様々で、特に韓国の人達は燃えるようにお祈りをしていました。

聖会では外国ろう者牧師のメッセージ、賛美、証などがあつて、一番、目を引いたのがカナダの牧師のメッセージ。この牧師は手話で語るだけでなく、ろう者が理解出来るようにわざわざダンボール(?)で作った高いもの(ゴリアテ)を立てていました。牧師(ダビデ)が石を投げた時、ダンボール(ゴリアテ)は倒れていました。(倒すために紐で引っ張る)。これは面白いアイデアでした。私たちはどんな問題があっても神は打ち勝つことができる。勝利できると、力強いメッセージでした。



たっぷりの食事



最後に、女性が琴を弾いていました。それを見る時、ダビデが賛美して主をほめたたえていた様なイメージでした。沢山の方々が、前へ行ってお祈りして聖霊に満たされていました。

それからもう一つはアメリカの牧師が「伝道しよう」と言うテーマで語られました。現在、世界どこにでもスマホをもっている人が多くなっている。昔は電車の中、公園などで本や新聞を読んでいる人たちが多かったが、今はスマホ時代で、朝昼夜、徹夜ずつと見ている人(スマホ依存症)が、家族や友人とのコミュニケーションも少なく孤独。それで若い人の伝道は難しくなっている。だから私たちは、もっと聖霊に満たされて、福音を伝えていかなければ、というメッセージで、本当に心打たれました。

次に賛美歌はとても素晴らしかったです。全身全霊で歌っていました。柔らかな手、ピチピチの手で、体を動かしながら心を込めて、神様に賛美をしていました。英語の手話は分からない

かったけれども見ているだけで心に響いて来ました。

大会の終わりの夜、賛美をして下さったエストニアの牧師ご夫婦と、御影教会の姉妹達と一緒に、写真を撮らせていただきました。大会最後のお別れになるので、この奥様と握手しようと思いましたが、私をハグして下さいました。とても優しいお母様のようなでした。感謝。

六日間の大会はあっという間に終わったけれども、色々教えられたこと、反省すべきこと等多々ありました。日本のろう者にもっと福音を伝えて行くように祈って行きたいです。

三年後はスペインで行われるので、もっと素晴らしい大会になりそうです。期待しています。

次回はスペインです！



日本人によるパフォーマンス



各国の民族衣装でニコリ



二〇一八年 行事予定

●信徒聖書学校・トレーニングスクール

日時 二月十一(日)〜十二

場所 大阪市立青少年センター

科目 聖霊論(瀬古師)

旧約概論(井桁師)

トレーニンングスクールテーマ

目から鱗「新約編」

(郡師)

●全国ろう者聖会

日時 八月一三(月)〜一五

場所 大阪 江坂

講師 武藤信夫師 郡美矢師

●アジアろう者アッセンブリー大会

七月四日〜九日(フィリピン)

Facebook (WDAG Asia 2018)

参照



四コマ漫画 大山永祐